滿洲國經濟五人男（二）

難局に直面

期待さるる古海忠之氏

そして今度の星野の日本行きである、グループとして打撃を蒙つたことは言ふまでもない、彼らの住んでゐた役所「經濟部」が「産業部」と合併したのも大きな痛手だつたいま表面的にはこの一派のセクショシとしての形は大變影が薄くなつてゐる、然し乍らその永年培つた地盤は根強いものがある、そしてその中心には新生「經濟部」の次長に就任した古海が立つてゐるのである、彼が如何にこの一黨の力を盛り立てるか、或は分散させるか、古海の今後の動向は極めて注目に値する、古海がこの春一年の獨逸視察から歸つて合體「經濟部」の次長になつた時は新知識と抱負を以て颯爽と乘り込んだ、然し次長になつて見て諸般の實狀を見るに及び極めて深刻な顔つきになつてしまつた、彼はいま經濟國難に直面して闘つてゐる、恐らく心中では大變なポストに就いたものだと思つてゐるだらう

彼は元來お坊ちやんで眞直である、高等學校、大學から大藏省へそして…と順調に進み、その間三高で野球の選手であつたせゐもあつてか、秀才四の一族の中でも最も正統派的の純直さをそなへてゐる星野の奇策縦横に比して彼は最も妥當であり中庸である、酒も呑むし、遊ぶ方も相當だが、それだけに包容力は大きい然も明晰な頭腦を持ち、よく勉強もする、滿洲國野球軍の監督をしてゐて試合の旗色が惡くなると見物に向つて「下さい」とどなるあたり愛すべきものだが、或る時重大政策を新聞記者に話してあとで星野に「何んでそんなことを喋舌るんだ」と叱られた時「喋舌つたんぢやない、喋舌らされたのだから仕方がない」と言つて平氣な顔をしてゐたといふ話は、星野と古海の性格をよく表してゐる

彼の經濟部次長としての仕事の前には大きな難關が山積してゐる、生産力擴充計畫は大幅に伸びかけたまゝ國資金調達難と、資材難に逢着して難航を續けてゐる、大規模の而も收穫期の遠い建設計畫の進捗に依る購買力の増大と時局に依る物資不足はインフレの危機を[illegible]してゐる、この原因に合せて日本側當局の[illegible]力不足も手傳つて物價局の[illegible]刻な様相を顯示し、また昨年度から實施した主要農産物の統制は豫期の成果はあげてゐない

古海は經濟部次長としてこの經濟國難を克服せねばならぬ使命を與へられてゐる、あらゆる經濟政策の總元締として星野のやつて來た仕事を實質的にやらねばならぬ任にある、いまの彼を見ると、大地をふんでしつかりと歩んでゐる、犬猿の仲だつた經濟、産業兩部の役人達を合體經濟部の下にうまく治めてゐる様だし、最近の緊縮政策乃至金融引締政策も彼の創意に依るといふから、彼はうまくこの經濟の亂脈を收拾するものと期待出來よう、鮎川滿業總裁も「あの人物は及第ぢや」と言つてゐるさうである（この項終り）

輸入聯盟 本年度豫算

十八萬三千圓

輸入聯盟の歳出入豫算（本年四月より明年三月迄）については其の業務開始を控へ經濟部において一應豫算編成を見たが歳入出夫々十八萬三千二百五十九圓で歳入中主なるものは加入業者信認金十九萬二千圓の預金利息（日歩八厘）三千二百五十九圓、聯盟分賦金十八萬圓（聯盟輸入總額六千萬圓の千分の三）でその他これに過怠金、雜收入を豫定、歳出は會議費、統制費（雜給需品費その他）出荷勸誘費、諸費（交際費、初度調辨費）豫備費等よりなり役員に對してはその名譽職たる建前上歳出豫算面に計上されてゐない即ちその内譯左の通り（單位千圓）

△歳入	
分賦金	一八〇
雜入	三
計	一八三
△歳出	
會議費	二〇
統制費	八六
出荷勸誘費	二四
諸費	一二
豫備費	四〇
計	一八三

滿洲火保協會創立

去る二月下旬政府に於て正式決定を見た火災保險業務調整要綱に基く滿洲火災保險協會は愈よ一日結成され、右創立總會は同日午後四時より中銀クラブに於て開催されるが、總會に於ては定款、代理店規則及び保險料率等に付て會員の承認を求め、役員及び委員會社の選任を決定、協會の事業方針に付て意見の交換を行ふ

棉花關係打合會

滿洲國が棉花の大半を第三國に仰ぐ現狀に鑑み棉花増産五ケ年計畫を樹立、着々その實績をおさめて居り殊に本年は順調なる天候と作付とにより好結果が期待されてゐるが、興農部では昨年度の棉作概況竝に本年度作況を報告すると共に本年度棉花收買價格及び助成方針につき來る五、六の兩日に亘り興農部會議室に於いて棉花關係打合會を開催することとなつた、同會議には興農部より農産司長以下關係各科長、地方側より省主務官各試驗場、棉花原種圃並に棉花會社より關係者出席し左の報告協議事項を附議する

一、報告事項

イ、康德六年度事業概況
ロ、康德七年度棉作狀況

二、協議事項

イ、康德六年度棉花災害補償に關する事項
ロ、康德七年度棉花標準見本に關する事項
ハ、實棉收買に關する件（荷所の設置、收買價格競爭作物の價格）
ニ、棉花の基本調査に關する件
ホ、全國多收穫競作會開催に關する件
ヘ、康德八年度棉花増殖豫算編成に關する件
ト、康德八年度棉花増殖用資材手當に關する件
チ、常柄調査報告に關する件

郵便小爲替

近く五十圓に引上ぐ

郵政總局では滿洲國の躍進に伴ひ激増する郵政事業のため兼ねてから事務の合理化と相俟つて一般大衆に對する諸種の便宜案を研究中であつたが現在郵便小爲替一枚の最高取扱價格が二十圓となつてゐるのを五十圓に引上げるべく計畫を樹て目下法制手續外諸準備を進めてゐる、現在五十圓を小爲替にすると二十圓二枚十圓一枚で料金三十三錢を要してゐたのが通常爲替同樣二十五錢程度の料金になり然かも封籍の目方が輕減されたうへ通常爲替と比べて窓口の手續が遙かに簡便となり受取人も亦受取が樂になるので一般大衆の送金方法がうんと便利になるわけだ、なほ同案は法制手續を經て大體年中に實施される見込である

哈市自轉車配給統制組合

經濟部方針竝に設定要領に準じ結成準備中の哈爾濱自轉車配給統制組合はこの程定款を作成、諸準備の完了を見たので五日午後一時から商工公會で設會式を擧行するが加盟業者は約七十名加入金として一部（卸商）百圓、二部（小賣）三十圓を徵收、役員は一部より八名、二部より五名を夫々選出、設會式當日商工公會より指名される

大豆バラ積試驗好成績

哈爾濱鐵道局貨物係では最近大豆用麻袋の入手難に鑑み濱北線綏化驛で三井、三菱農事合作社など各關係者立會ひのうへ大豆のバラ積を試驗的に行つたところ好結果を得たので以後大連への大豆輸送は一切バラ積とすることとなつたバラ積の大豆輸送は全滿はじめての事とてその成果は各方面から注目の的となつてゐる

中銀帳尻

卅日の中銀帳尻左の如し（單位千圓）

紙幣	六三八、六八七
鋼貨	三八、四三三
預金	三一三、〇三一
貸出	八七四、四〇一

商況 一日

海外爲替電報

倫敦金塊	一六八志〇
倫敦銀塊	二二片八分三
同　先物	二二片六分一
紐育金塊	三五弗〇〇
紐育銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

米英爲替	三弗八三仙二分一
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	六弗〇五仙
英日爲替	一志二片一分三
英支爲替	四片六分三
英佛爲替	四片六分一
米獨爲替	四〇仙〇五

▲紐育株式

スチール株	五四弗〇
アナゴンダ株	二一弗〇

▲紐育棉花

現物	一〇仙三九
十月限	九仙三九
十二月限	九仙二七
一月限	九仙一六
三月限	九仙〇五
五月限	八仙八六
七月限	八仙六六

▲印棉

ブローチ	一四一留比二分一
オームラ	一七五留比六分一
ベンゴール	一七留八比分三四

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]
日鑛	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
日工	[illegible]	[illegible]
電電	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
日曹	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

[illegible]

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	—
土木	—	—

各地商品市況

▲大阪綿布

限月	寄付	大引
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	—	—
十二月限	—	—
一月限	—	—
二月限	—	—

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

▲横濱生糸

限月	寄付	大引
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	—	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	—	—
現物	[illegible]	[illegible]

滿洲國の健全金融政策は政府特殊會社をもつてする放出資金の緊縮と民間遊資の吸收といふ二面から行はれて來た▼最近インフレよりデフレへの轉換傾向のため業者の換物傾向は徐々に是正され、金より物の時代であつたこの國の經濟は再び物より金の時代に逆轉し、民間遊資は漸増する傾向にあるやうである▼物價が高騰する場合より下落する場合の方が一層急激であり勝ちであるだけに今のこの國の金融部門に多くの危險性が包含されてゐる▼民間遊資はかくて可及的速かに國家的金融機關に吸收されねばならぬ理由は明らかとなつた▼ところでその方法の問題であるが、何時迄たつても政府は競馬や彩票等つまり滿人のスペキユレーシヨンを利用する以外に打つ手を知らないのか▼思ひきつて國策會社の株を一割保證で開放してみたらどんなもんぢやろきつと成功すると思ふが、問題は決斷と勇氣だけだ

腕づく半次（88）

（森上演映畫化）　中川雨之助　西正世志畫

四個の死骸

「わッ」
と、俯向きに泳いで、無緣の輪塔の後へのめり込んだ。
素晴らしい腕前だ。
二人の浪士は、鍔へを付けたまゝ、チリ〳〵と退つた。
小平次は、まるで熊蜂の襲來にでも遭つた小兒みたいに盲滅法界に刀を振り廻してゐる。
「ソウラ行くぞ小平次。念佛だ！」
「ひやア！」
その聲に怖氣立つて、クルリ背を向けて逃にかゝつた足數の、まだ三つとは數はらない中に、躍りかゝつた庄助との双胸には、拜み打の一刀。半次みが籠つてゐる。
「ぎやッ！」
兩手を高く虚空を摑んで、右肩から袈裟がけに斬り下げられ、小平次は仰向に引つくり返つた。
◇
夜が明けて、專光寺の松で鳥がけたゝましく囀いだ。
寺男の爺が、朝飯く墓地へ行つたが、
「キヤッ」
といふ聲が間もなく聞えて和尚の處へ轉がり込んで來たその爺は、
「タ、タ、大變です和尚樣。人が殺されて……」
と後は、墓地の方を指さして、口をパク〳〵させるだけであつた。
やがて、墓地へ駈けつけて來た和尚や小僧も、
「あッ」
と、魂消たのである。其處此處に倒れてゐる血まみれの死骸が四個。みな無殘に斬り殺されてゐる。
それは、昨夜のこの墓地に起つた月下の亂鬪の結果であつて、堀の小平次と、加勢にと後からやつて來た浪人組の浪士三人とが、遂に半次の刃に倒されてしまつたのであつた。
しかし、何處にもモウ半次の姿が見えないので、誰が下手人……？　といふことは解らない。
そして、四個の死骸の中、堀の小平次の屍體には首が無い。
ところが、無いと思つたその首が、直ぐ傍の信樂平太の十輪塔へ供へてあつた。
十輪塔へ生首！　二タ目と見られぬ凄慘さであつた。
これが、間も無く、界隈の評判になつた。

「ソレ行け。專光寺の墓地で斬り合があつた」
「櫓場の浪人組と、竹の塚身内とが、數百人、入り亂れて今や血の雨降らす眞最中」なぞと、浪花節もどきで駈けて行く者もある。兎に角、話が大きい。
「先生、大變です！」
と、櫓場の浪人組道場へも夜の引明けに飛込んで來た者から、初めて、それが分つた。
道場の主鹿倉陣十郎が、昨夜遲くまで飲み更かした酒のため、前後不覺に眠つてゐる處を、門弟の一人に起された。
「先生、大變です」
「イヤ、酒はもういかん、ムニヤ〳〵」
陣十郎先生、寢呆けて囈る
「先生、お目覺めを願ひます新參者の小平次を始め尼眼、龍池、小野塚の三君が、殺られました」
「えッ」
先生初めて正氣づいた。
そして、蒲團の上で胡坐を搔いて、委細の話を聞いて、思はずゾッとした。寢卷の襟を掻き合さずにゐられない。
「腕づく半次か……それとも半次を救つた、彼の謎の覆面か……？」
何方にしても、彼の鐵ッ玉を、冷りとさせるに充分な出來ごとであつた。

東京・本郷・神誠館

金曜	八碧
丁丑	六月
佛滅	月
破	二廿
畢宿	日九日

● 一白の人　心の緩みを抑制し且つ交際にも注意すべし　乾と西と壬が吉
● 二黑の人　一時運動の止ることあり辛抱が大切のとき　南と西と乾が吉
● 三碧の人　力に餘る事に手を出す時は大敗を招くべし　壬と己と甲が吉
● 四綠の人　一利あらば我は手控へすべし好事再來せず　東と南と北が吉
● 五黃の人　名譽と人格を重する時は運氣向上し行くべし　南と坤と西が吉
● 六白の人　隱れたる勞力が次第に現れ來る日自重すな　艮と坤と西が吉
● 七赤の人　脱線せざる限り何事も進みて吉し凶は往還　壬と坤と艮が吉
● 八白の人　意地張けをせぬやう避きを吉にせず勵めめ　南と西と乾が吉
● 九紫の人　生氣を振作し久しきに堪ゆる意地あれば吉　震と東と艮が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊八頁】
本紙 五錢 一ヶ月一圓
廣告料 普通一行 一圓五十錢 特別同 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮 編輯人 和波 印刷人 永越内之介

親邦の基本國策に滿洲國の進路明示
一體關係益す强化

現下内外諸情勢の轉換期に對處し東亞新秩序建設に邁進せんとする近衞内閣の基本國策は一日の閣議に附議決定し中外に宣明したが、日滿不可分の關係にあり、且つ近衞内閣の標榜する新東亞建設の據點的一環を擔ふ滿洲國では近衞内閣の基本國策の發表には深甚なる關心を拂ひ發表内容により日本皇國を核心とし日滿支の鞏固なる結合を根幹とする強力な國防國家體制の確立を目指す日本帝國國是の中に滿洲國の地位が重要なる一環として強調されたことは日滿一體關係をさらに強化するものであるのみならず、滿洲國今後の進むべき途を明示したものとして滿腔の賛意を表すると共に左の如き見解を有してゐる、即ち

一、國防國家體制を基底とする國是遂行のためには日滿支を一體とした東亞國家の力を發揮すべきであり、滿洲國はこの重大時局に際會して國民必任義務制による國兵制度の施行を見、着々國防體制の確立に努めつゝあることは新東亞國防國家體制の確立に一大寄與を齎すものであり、今回の日本帝國の基本國策決定により滿洲國の國防體制の整備確立に拍車をかけるものである

二、近衞内閣の外交政策の重心は勿論支那事變の完遂と大東亞の新秩序建設を目指すものであり、これがためには大陸政策の強化確立が期せられるべく、滿洲國の大陸政策顯現の地位と責任は今後益す重要化するものと見られる

三、これ等國防および外交政策の確立には國内政治體制を整備し特に日滿支三國共同經濟圏の確立が不可缺の前提的條件でなければならず、この點に關し基本國策においても強調されてをり、今後日滿支三國經濟の自主的建設に邁進することとならう、就中滿洲國が興亞食糧政策の完遂のため樹立した農産物增殖計畫は益す其の重要性が再確認されたわけで重農主義政策の徹底が一層國策線上にクローズアップされるに至るであらう

革新政策を期待
滿洲經濟界の新動向

近衞新内閣の發表せる基本國策に對し滿洲經濟界では既に近衞首相のラヂオ放送演說に依り大體豫想してゐたところで現下内外の情勢より推して當りしかくあるべきものとしてゐるが、列擧されたる諸政策の實行如何について一應の疑問を附し同時に具體的内容の分明を要望してゐる、即ち今次政綱直に相關工作の經緯よりして新内閣の外交政策に付て重大方針の確立したことは觀取し得るところであり、また新内閣が現下の環境に處して劃期的な方策を斷行するに非ざれば緊迫せる時局を切抜け得ざるものであり、この意味に於て相當の革新政策を實行する意志のあることは察知し得るが、新内閣の對外政策に付て未だその決定せる方向を確然と摑み得ぬ憾みあり從つて財政金融、產業、貿易の各部門に付て羅列せる「機構整備」「政策刷新」乃至「劃期的發展」等の字句が如何なる具體的内容を意味するかに付ては多分に臆測の餘地を殘し又過去歷代の内閣が成立當時に中外に發表せる政綱政策を必ずしも實行に移してゐない前例に鑑みて今回もその實行如何については一應の疑問が附せられるとしてゐる、然し乍ら基本國策として發表されたるところ就中その經濟政策に付ては大東亞の確立並に戰時經濟の合理的運營の立場より双手をあげて賛意を表すべきものであるとし、特に東亞經濟圏の中に於ける滿洲國の重要性の增加に付て覺悟を新たにすると共に綜合運營上に於ける政府當局間の緊密なる連絡を要望してゐる、基本國策中の經濟政策内容に對する滿洲經濟界の感想は左の如くである

一、共同經濟圏　大東亞共同經濟圏の確立のためには產業計畫が一體的に樹立されると同時に貿易、金融、財政に付ても連絡が緊密化し特に相互の交通運輸の整備が實現されることが必要である

一、計畫經濟　主要物資の生產、配給、消費を貫く一元的統制機構の整備を強調してゐるのは日本の戰時經濟運營上必須であると同時に滿洲國としても日本との協調が可能となる所以である

一、產業政策　主要食糧の自給、重工業、化學工業への重點、科學の振興を行ふは時局柄當然であるが、實行に當つては日滿支を一體として考察して工場立地等の具體的問題については相當異つた意見も生じ得るものであるから政府當局間の話合に遺漏無からん事を望むであるとの空氣が一層濃化して來てゐる

定期敍勳

【東京發國通】畏きあたりでは一日恒例により全武官廳に親族五百七十八名に對し定期敍勳の御沙汰あらせられたが松岡外相以下各閣僚に對してもそれぞれ左の如く敍位の御沙汰あらせられた

外務大臣兼拓務大臣 從四位勳一等 松岡洋右
大藏大臣 正四位勳二等 河田烈
陸軍大臣 正四位勳一等 東條英機
司法大臣 正五位勳三等 風見章
文部大臣 從四位勳三等 橋田邦彥
商工大臣 小林一三
遞信大臣 村田省藏
無任所大臣兼企畫院總裁 從四位勳三等 星野直樹
敍從三位（各通）

不介入方針は當分の間堅持
松岡外相記者團に語る

【東京發國通】松岡外相は一日外相談を發表したのち記者團との會見で更につぎの如く說明を加へ松岡外交の根本方針を明らかにした

歷代内閣はその外交方針に關し支那事變處理に關し「帝國に好意をもつものはこれと提携し障碍を與へるものはこれを排除する」と述べてゐたやうであるがそれは當時の國際情勢においてかゝることの必要があつたのであらう、現内閣の外交方策としてはわが對外方針を貫くためには日本から積極的に働きかけ現在の環境にあつてつくり得る友邦はつくるといふ方針である、しかし友邦については自ら出來るものと出來ないものとがあるわけだが、從來の如くいちやうでも提携出來ぬ國とはもはや手を握る努力はしない心算だ、即ち八方美人的外交は全く抛棄する不介入の方針については當分の間依然としてこれを堅持するといふ以上何もいへない大東亞共榮圏の確立は先づ日滿支をその根幹とするものである、支那事變處理を最も緊要務とすることは變りないが南洋をも含めての東亞であることは論を俟たず目標は日滿支、佛印、蘭印その他を包含し自給自足を完成、東亞安定圏の確立にあり要するに新内閣の外交方針に關してはそれ以上は未だいふべき事態に到達して居らぬが時期來れば總て具體的に發表し得るのである

資金調達順調
大澤中銀副總裁歸任談

大澤中銀副總裁は日滿資金調達問題に關聯して七月十日空路東上、青木金融司長等協力して大藏省、日本銀行、對滿事務局などゝ折衝に當つてゐたが、この程要務も片附いたので一日午後五時四十五分新京着日滿定期航空機で歸京した、同氏は飛行場に於て次の如く語つた

圓資金調達に付ては私は專ら金融司長等に協力したゞけで金融司長等が歸滿した後は後片附けをしたゞけで別に話すやうな事もないが日本は滿洲側があらゆる方面に緊縮政策を實行して健實な行方を示してゐるのを諒解して滿洲に好意を寄せてをり圓資金調達交涉も大體期待してゐた程度に成功した然しこの際に滿洲側に日本の好意に甘えてその好意を無にするやうな考へを持つてはいけないのであつて今後とも益す無駄を省き引緊め、重點主義を強化して、聖戰遂行中の日本に協力して、少しでも日本に迷惑を掛けないやうにしなければならない、一口五千圓以上の送金についての許可制は當分續けて行きたい、送金制限は案じてゐた程ではなく大體必要な支拂は順調に行はれてゐるから緩和するにしてもさう急なことはあるまい、日本の金融狀勢はまだ相當に緊忙だがしかし上半期に比べると可成よくなつてゐる、星野君に御目にかゝつたが、元氣でやつてゐられる、仕事が一段落したら一度歸滿をされる由だが氏の入閣によつて滿洲は色々利便を得ると思ふ武部君にも二度御會ひしたがあの人は滿洲の人にも事情にも通じてゐるから新長官として大いに期待される

（ビフテキ）

大橋忠一氏
外務次官就任受諾

【東京發國通】松岡外相は就任後最初の人事刷新として前滿洲國參議大橋忠一氏の起用を決意し駐印譲察旅行より歸朝の途にある同氏に電報をもつて交涉中であつたが卅一日に至り大橋氏より受諾の意志を通告し來つたので、本月中旬同氏の着京を俟ち正式發令をされる

滿蒙現地國境確定第一回會議
三日開催に決定

滿蒙現地國境確定委員會はチタ市にて一日より開催されることになつてゐたが、蒙古側委員一行が期日までにチタに到着出來ないため豫定を變更され、第一回會議は三日に行はれることになつた、よつて去る七月廿六日離京した我方下村、岡彥滿洲側委員一行はその後ハルビンに滯在中であつたが哈爾濱を出發し一日午後五時卅分滿洲里發の國際列車でチタに向つた、右につき外務局では一日午後三時左の當局談を發表した

八月一日よりチタにおいて開催の豫定なりし滿蒙現地國境確定委員會は蒙古側の都合により八月三日より開催せらるることとなれり

對英作戰展開か
獨軍の行動

【ニューヨーク三十一日發國通】三十一日A・Pのヴイシー電によればドイツ軍は同日佛蘭内占領地區において有線電信電話連絡を一切停止せる旨を報じてゐるが、消息筋は恐らくこれはドイツ軍の對英大規模作戰切迫を示すものではないかと見てゐる、なほドイツ軍は占領地區間の電信電話有線連絡遮斷をも同時に發令したといはれる

英軍根據地を伊空軍爆擊

【アルヘシラス三十一日發國通】三十一日當地に達した報道によれば國籍不明のイタリー空軍はまたもジブラルタルの英軍根據地爆擊を決行、防空砲火は直ちに一齊に火蓋を切りこれに應戰したがイタリー空軍は何等の被害をも受けなかつた

わが荒鷲蘭州飛行場爆擊　=（軍貸下げ）=

滿洲火保協會創立總會
會長に西脇勝藏氏

滿洲火災ほか國内における外國系火保業者廿九社を以て組織する滿洲火保協會創立總會は一日午後四時より中銀クラブにて開催、政府より山梨商務司長、[illegible]商事科長、業者側滿火外廿九社代表出席、山梨商務司長及び島田滿火取締役會長より火保協會結成並に運用に關する挨拶あつて從來協會定款、協會協定保險料率、代理店規則一部（代理店手數料の件）並に特殊物件再保プール規約、火災交換所規約等を附議夫々準備委員會原案通り一同異議なく承認、次いで協會役員として會長に滿火常務西脇勝藏氏を滿副長事務取扱に朝鮮火災新京支店長今井健五郞氏を夫々選任、副會長は改めて二日委員會を招集して決定する事とし委員會社として

滿火、日本火災、日本海上、東京火災、大倉火災、大正海上、帝國海上、共同火災、三菱海上、住友海上

の十社を選出の上午後五時二十分總會を終り引續き參會者一同夕食をともにして懇談を行つた

和協に希望繋ぐ
コックス事件と英の態度

【ロンドン卅一日發國通】イギリス人檢擧事件につきイギリス政府は卅日の下院で對策を協議した結果、強硬方針を以て對處するに決した模樣である

即ち逮捕英國人に關するスパイ嫌疑を斷然不當とする建前から政府に對し即時釋放を要求すると共にコックス自殺に對する日本の責任を追究し日本政府の回答が不滿足の場合には或は報復手段に出るやも知れぬとの態度を示唆してゐると見られる

しかしチヤーチル首相、ハリファックス外相等の政府首腦は現在の國際情勢に鑑み、極東に於て日本との摩擦を避けねばならぬことは充分承知してをり、ハリファックス外相も卅日重光大使との會見席上圓滿解決を期してゐる位でイギリス政府としては今なほ和協に希望をつないでゐる模樣である

開拓豫算會議
日滿の意見交ゆ

明年度開拓關係豫算編成會議は、一日午前十時より開拓總局會議室に開催、會議は日本側より拓務省高濱第一課長その他事務官六名が來滿、滿洲側よりは開拓總局、拓植委員會、訓練本部、滿拓等の關係者が列席、日滿合作の共同豫算會議となつてをり、當日の會議は主として日本側より明年度送出可能數量の見透しについて報告あり、續いて滿洲側より明年度招致希望數量の開陳が行はれたが、滿洲側の大量積極招致希望と日本側の抑制消極送出計畫との間に意見の相違があり、これが調整に日程の大部分が費されたほか滿拓鮮拓統合問題、建設關係の明年度見透等についても論議が交換され大體の基本的折衝を終了したので二日より引續き具體的問題、即ち開拓民、義勇隊に對する補助金、助成金の單價問題、建設單價等の決定に移ることとなつたなほ今回の會議が終了すれば日滿兩國ともそれぞれ自國關係の開拓豫算の編成を行ひ、日本側は十一月末議會開會前迄に最後的の案を編成、滿洲側は八日京城における滿、鮮開拓關係豫算編成會議に列席した後十一月中に滿洲開拓豫算の最後的審議を終了する

中央委員會運動へ
機構を強化

協和會では中央委員會の機構を更新して中央委員の會運動するのみで會運動目標に直接的に關聯する機會が少ない憾みがあつたので委員會に專門部門を新設して擔任委員を決定、委員の活用と委員會事業を強化する事になつて新設する專門部門は[illegible]の各部別にするが[illegible]によつて五部門を設置す[illegible]各委員に研究を依囑中で[illegible]による五部門[illegible]力視されてゐる

十六件解決
全聯處理幹事會

全聯處理幹事會第四日の一日は政府側から興農部各司並に地政總局の關係官が出席、協和會から蜷井企畫副局長、黒田實踐、上田興部兩科長以下係職員が出席、興農部、經濟部關係事項廿二議案を審議した結果解決十六件、不可能三件他は何れも一部解決或は善處となつた、解決せる事項次の如し

一、農村金融一元化に關する件（通化、吉林）
一、穀物の統制に關する件（奉天）
一、大豆價格安定に關する件（濱江）
一、小麥公定價格引上げに關する件（北安）
一、麻袋配給圓滑化に關する件（濱江）
一、洋麻及び棉花買上げ價格引上げに關する件（奉天）
一、現行林業法令改正に關する件（通化、吉林）
一、木材配給統制に關する件（間島）
一、農家負債整理に關する件（濱江）
一、滿洲林業株式會社收買方法改善並に木代金低減方に關する件（興安）
一、幼魚の保護に關する件（吉林）
一、牛疫對策に關する件（吉林）
一、鑛山會社の不法發掘に關する件（安東）
一、家畜購入價格合理化に關する件（興北）
一、農耕機具及び附屬品製作修理工場設立に關する件（興北）
一、拓政事業機關一元化に關する件（濱江）

人事往來

▲市川謙三郞氏（滿久保田[illegible]）一日來京國都ホテル
▲逸見武雄氏（京都帝大[illegible]）同
▲平林正幹氏（住友生命[illegible]）大都ホテル
▲遠藤[illegible]三氏（牡丹江[illegible]店）同
▲竹尾金太郞氏（來京[illegible]）同
▲横井太郞氏（奉天[illegible]支店人）同三國ホテル
▲高井庄助氏（大連[illegible]）
▲中[illegible]三郞氏（大連[illegible]）同
▲向井政義氏（東滿洲[illegible]）同
▲宮久尾均氏（[illegible]）同
▲谿長次郞氏（平安[illegible]）同滿蒙ホテル
▲有馬勇氏（安東[illegible]）
▲武光順一氏（奉天土木[illegible]）同帝都ホテル
▲木崎二三氏（[illegible]）同
▲松原庄一郞氏（奉天[illegible]）同
▲武田吾昌氏（東京[illegible]）同
▲岡田英次氏（奉天[illegible]）同松屋ホテル
▲中島宮利氏（濱江[illegible]）同
▲東鷲氏（哈爾濱[illegible]）同
▲小原明次郞氏（奉天[illegible]）同
▲西島八郞氏（東京[illegible]）同

陸軍飛行 航空通信
兩校新官制

【東京發國通】陸軍では岐阜陸軍飛行學校及び陸軍航空通信學校をそれ〳〵新設することとなし右官制を一日官報で公布した

岐阜飛行學校は各隊より飛行機操縱に從事する豫備役將校並に操縱候補生を派遣し飛行としての必要なる學術を修得せしめるもので修學期間は六ヶ月制度、航空通信學校は航空關係の通信に從事する少年航空兵および下士官候補生ならびに下士官生を敎育するとともに航空通信に關する調査研究び試驗を行ひ學生は甲、乙、丙、丁特殊學生の五種[illegible]ち丙種學生は年二回その他は年一回の入校制度となしてゐる

商況（一日後場）
各地株式市況

東京株式（短期）
新東、大新、鐘紡、同新 [illegible]

大阪株式（短期）
帝新、洋新、日魯、日郵、同新、日石、日立、滿業、東礦、開礦、徳新、日産、大新、鐘紡 [illegible]

大連株式（短期）
帝人、同新、郵船、商船、滿業、五、大新、新東、鐘紡、同新、滿鐵、滿洲 [illegible]

新經濟機構成育に協力
財界方面の態勢

【東京經國通】政府の基本國策要綱の發表によつて財經政策の基本的指標が明確に示されたので財界方面では今後展開さるべき經濟新體制確立の諸方策に積極的に協力すべき態勢を示すに至つた、即ち近衞内閣成立以來中央物價協力會議、全產聯、經濟聯盟など有力經濟團體は國防國家建設に伴ふ經濟機構の再編成への態勢を整へつゝあつたが、今回の基本國策により明かにされた大東亞共同經濟圏確立、即ちわが國經濟の外國依存性脫却こそは旣に經濟界自體においても理窟の要務として機會あるごとにこれを要望してゐたところであり、さらにこれら諸方策の前段的措置である主要物資の生產、配給、消費を貫く一元的統制の強化に當り從來の天降り的態度を一擲し國民の協力によつてこれが達成を圖ることを明示したことは財界の最も歡迎するところで、經濟界としては今後金融統制の強化、貿易政策の刷新、產業の國防主要など諸施策の實施に際してはその總力を綜合集中して新經濟機構の成育に積極的に協力すべき

忙閑錄音
慾望の整理と組織

「自分のことよりも他人のことを考へろ、個人の利害よりも、全體の福祉を念とせよ、とのお說は、まことに、りつぱな、けつこうなことですが、實際の社會では、そのやうな、滅私奉公、利他主義などといふものは、めつたにありません。日本の大學生なども、たとへば法科のものは、法律を暗記して、高等文官試驗に合格し、すこしでもはやく立身出世、金まうけをしようとばかり考へてゐます。

大學は、國家有用の人材を養成するところで、個人の立身出世金まうけの手段として、資格をあたへる場所ではないといふのは、それこそ理想であつて、現實は大學教育は、もつとも有利な投資の目的となつてゐます。一體われ〳〵青年學生に向つて、私心を去れ、奉公に精進せよ！と說教されるおえら方も、そのむかし、學生時代には、自分の立身出世にうきみをやつして、今日いはゆる「成功」して、人の頭に立つやうになり、もはや、名利にあせる必要がなくなつたので、むかしから、世のため、人のためにと心がけてきたやうな顏をして、口をぬぐつてゐるのではありますまいか？」

「一應もつともな考へである。さういふ事實もあるし、さういふ觀察もまちがつてゐるとはいへない。しかし、それだからといつて、みな、立身出世金まうけといふことを唯一最大の目的として、營々努力するのが、正しい、よい生かたであるといふことにはならん。それは社會的全體的にはもちろんのこと個人のためにもよくないのだ。第一、立身出世、金まうけといふことすら、もし直接に、立身出世金まうけを目的として努力したのでは、その目的を達することはむつかしいのだ。世のため、人のため、お國のためにと、己をさゝげて、私をさつて、努力するときに、かへつて、地位も名譽も、報酬も、おのづとついてくるのだ。かういふものは、ほんたうは人生の目的ではないけれども、そんなものはいらぬと思つても、ある程度は自然についてくるのだ。かういふたとへ話がある。金がほしい、名譽がほしいと思つて、一所けんめいにそれを追ひかけるのはちやうど、自分の影をつかまへやうとして、それを追ひかけるやうなものだ、いくら走つてみても、影も同じ速さで走るからいつまで追つても、つかまへることはできない。だがもし、影を追ふことをやめて、さやかなお月さまそのものに向つて進むなら影は、いやでも自分についてくる。影のことなどわすれてゐても、ふりかへつてみれば、影はどこまでもついてくる。この話は、平凡なたとへであるが、とにかく理想の太陽に向つて精進することが、人間の生きかたとして一番よいといふことを、手つとり早く教へてゐるものと思ふ。よく考へてみたまへ」

これは、留日學生——滿人青年で日本へ留學してゐるものが歸國した際にとりかはした會話の一節である

特に金錢慾には目がない、徹底的な拜金思想だといふやうなことがいはれるが、それはたしかに、その傾向は強い。三圓でも五圓でも月給の高い方がよいといふことについては、徹底してゐるものがあるのは、學生などに探してみても、ときどきあきれるくらゐだが、しかし、そんなら日本の青年學生は、さつぱり慾がなくて、皆義勇奉公を人生のモットーとしてゐるかといふと、この問答にもあらはれてゐるやうに、なか〳〵さうでもない。我利々々亡者が少くないのだ。また、この滿人學生が、はつきりいつたごとく、滅私奉公を說教する指導者たち自身が、その修業時代のことはさておき今日においても、はたして說教するだけの資格をそなへてゐるかどうか。

最近は、ほとんど全世界的に、全體主義といふことが叫ばれ、滅私奉公が強調されるが、このことは、實は一面において、人間が利己的であり、自由を欲するものだといふ事實の何より強い證據なんだ。利己的でなかつたり、自由を欲しないものが人間性ならば、何も自由主義の排擊も、いらねば、滅私奉公の強調も無用のことだらう。大體、生きるといふことは、生命の要求をつらぬくといふことだ。生命は現象としては必ず個の形をとるから、生命の要求をつらぬくといふことは、從つて利己心といふものの發展となるのは自然の理だ、個人主義的とか、利己的とか自由主義的とかいふ事を、あつさり、手輕に考へて、それは西洋思想にかぶれたのだ、東洋古來の道義はさなどといふのはまことに心なきことではないか。現代のわれ〳〵の生活環境や條件が、個人主義や、利己心を不可とすることはいふまでもないが、それの是正については、深く生命の本質、人間性の特質と生命の條件といふものを、省察してかからねばなるまい。手つとり早くいふなら、生きるといふことは、ある意味では慾望をつらぬくといふことであり、從つて、人間は慾望のかたまりだ。さうして人間は肉體をもつてゐるから、その慾望はどうしてもまづ、物質的慾望とならざるをえない。つまり人間は物的慾望のかたまりといふことが、その出發點だといふことを忘れないやうにしなければならん。その上でこの慾のかたまりたる人間を、人間——生命——發展の方向にもとづいて指導すべきだ。物から精神へ、利己から利他へ、個我から全體へといふのが、人間——生命の最高の具現者——の發展方向なのだから、青少年や未發達な、つまり被指導者の慾望を、だん〳〵と整理し系統づけてやる事が必要だ。いきなり滅私奉公をおしつけないで、それへの道順を敎へることが必要だ。だが、いくらよいお說敎でも、お說敎だけではだめだ。現實のなま身が生きてゐるのだから、社會や、國家そのものが、この慾望の發展體系にそつて組織されてゐなければならん。高き慾望、すぐれた人生觀と生活態度とをもつたものに高い、よい地位を與へるといふ社會をつくることが肝要だ。全體主義や滅私奉公は生活原理の說敎の面とともに、生活の組織とならねばならぬ。人間は慾のかたまりだ。しかしこの慾は向上し進步すべきものだ。慾望の整理、訓練は敎育の任務であり、慾望の組織化は政治の使命と見てもよいであらう。（七・三〇）

避雷針

日本の基本國策は發表された。簡潔な語句の中に日本が進まうとする方向を率直に語つた▼新政治體制への動きも漸く活潑となつて來た。新しい構想こゝに凝結していかなる形をとつて行くか、形態るとともに、人間が人間の意識が變らなくてはなるまい▼殊に肝要な點は國民全體の組織がどのやうにしてそれに織り込まれるかにあらう。でなくては新しい時勢に於ける政治の更生は望まるべくもないのである▼[illegible]

武部新總務長官への獻言

精神建設に轉換せよ

島本義一郎

一、政治に理想性を確立せよ

滿洲國を視察した外來者が新聞に發表してゐる所見を讀むと、殆んど異口同音に「建國僅か數年にして斯かる諸建設を遂行したことは歴史上類例のない大偉觀なり」と口を極めて讃嘆してゐる。成程之等視察者の言ふ處は間違ひのない一面の眞理であつて、國防の强化に、經濟産業の確立に、交通々信の整備に滿洲國が過去八年間に殘した努力奮鬪の足跡は、後世の史家と雖も無視する譯には行かない程驚異的である。併しながら之等の建設は謂はゞ凡て形而下の問題であつて、一歩讓つて形而上の世界に觀察の眼を向けて見ると、其處に何が發見されるであらうか。滿洲事變勃發するや在滿の日滿漢蒙各民族の青年達は打倒軍閥、理想國家建設の希望に燃え一致結束して建國運動に邁進した。當時の先驅的青年達の間には理想追求の熱情が横溢して何ものをも壓倒するだけの迫力と氣魄があつた。從つて建國初期の諸建設には技術的には粗放な不合理な點があつたにしろ烈々たる理想性が具現されてゐた。然るに日と共にこの理想性は現實の煩雜な要求の前に雲散霧消して曾ての熱烈な建國の先驅者が夢も思想も喪失して唯事務的な繁忙と過勞の中に機械の如く干からびた毎日を送ると言つた有樣となつた。

特に國際關係の惡化、續いて支那事變の勃發、更に歐洲の動亂と矢繼早やに國際情勢は急轉し、國防强化の要請は絶對命令として滿洲國の諸政策を模樣替へするに至つた。現在强行中の政府の重要政策は所謂産業五ケ年計畫、開拓政策、北邊振興計畫、國兵法施行、民生擴充政策にして之等を五大政策と稱してゐる。この中前三者は三大國策と稱せられて國政の重點が指向されてゐるとは言ふものゝ、矢張り第二義的であることは國防國家體制の完成が緊急の問題である以上止むを得ないであらう。

吾々は何も幾多政策の遂行を惡いと言ふのではない。國家の當面の難局を脱する爲には國民の好惡を度外視して國家の要求を充して行かねばならない。が併し吾々の希望することは行き當りばつたりではいけないと言ふことである。遠い見透しと深い思慮とに裏付けられた政策を實行して貰ひ度いのである。換言すれば諸政策の裏に一貫した計畫性と理想性を持つてゐて欲しいと言ふことである。ともすると人間は現實の苦しさに壓迫されていゝ加減なことで濟ます癖を持つてゐる。此の惡癖を克服して貰ひ度いのである。官吏も特殊會社の社員も日々の仕事に忙殺されて思索も反省もなく徒らに事務に生産に沒頭する丈けである。故に仕事を裏付ける思想も理想も皆無である。國が國民は唯、盲目的に國家に随いて來るのではない。國家の持つ理想に國家の持つ性格に、魅力を感じるのである。國家の理想や國家の性格は國家の行ふ政治を通して其の匂ひを嗅ぎ得るのである。然るに今日では政府の政策からその匂ひが嗅げなくなつて來た。此處に民心が倦む根本原因が蟠つてゐる。民心が現在不安に陷り何ものかを摸索をしてゐると言ふ現實をはつきりと認識してかゝることこそ爲政者としての急務である。

而も滿洲國では建國當初よりの建國の理想は明示されてゐるのであるから此の建國理想を再確認して政治經濟の各部面に全面的に浸潤させることである。政治に理想性を確立せよとは此の意味であつて、魂なき政治に魂を入れ民心の支持と信頼を獲得すること、是が新長官に希望する第一である。

二、組織に推進力を結集せよ

滿洲國の官吏や會社員が熱意を喪失して萎微沈滯してゐるとの聲が各方面で呼ばれてゐる。が併し彼等の間に國を憂ふる志士が居らないかと言ふにさうではない。個人個人に會つて見ると大小深淺の差こそあれ國家を憂へて何とかせねばと考へてゐる。そして仲々立派な意見や見識を持つてゐる。然るに斯うした個人との貴重なる意見や見識が力強い政治の推進力となり得ないのは、個人が個人としてのみ散在して組織の中に同志として結集されてゐないからである。即ち同志として組織化されてゐないからである。

日本に於ては最近新政治體制の確立運動が近衛公を中心として進められてゐる。滿洲國に於ては建國の當初から協和會が創立せられ國民の組織化に乘り出してゐる。處が協和會は時の政治情勢の變化に影響されて幾度か會勢の消長起伏があつて今日に及んでゐるが、未だに協和會本來の使命を遂行するまでには至つてゐない。とは言へ協和會は軍官民一體の組織である以上協和會の運用を適正化して眞に同志の結合體たらしめ、滿洲國王道政治の推進力たらしめることは不可能ではない筈だ。

特に其の結集の主體は青年層でなければならぬ。滿洲國に於ては既成勢力を重視した結果青年層の指導把握が餘りにも閑却されてゐないだらうか。新興國家の建設は老人では駄目である。夢と眞理に憧憬する青年こそ新國家建設の推進力でなければならぬ。而も時代の急變は老年と青年の思想的距離を餘りにも大きくした。この思想的ギャップを埋める爲には青年層を結集して速かに政治勢力の水準線まで引き上げねばならぬ。之こそ滿洲國に於ける今後の政治運營に殘されたる最重要課題と言はねばならぬ。

併し乍ら此の政治の推進力を結集する上にも理想を明確にすることが先決である。協和會の會運動が容易に進展しないのも理想の明確且つ具體的でなかつたことが大きな障害となつた。理想を明確にして統一された理想の下に青年層が結集されて初めて政治の推進力となり得るのである。協和會が改編されて眞に理想を一にする青年同志の結合體となり、この同志組織を基礎にして行く處に滿洲國の政治が運行されて行く處に官民一途の獨創的政治が完成されるのであらう。入りては協和會員として同志的結束を固くし出でては官吏・軍人・會社員として夫々の任務に邁進することになれば、政府と協和會々務機構との摩擦等も文句なしに解消するのではないか。青年を主體として政治の推進力の結集、之が新長官に望む第二である。

三、實踐に闘爭性を發揮せよ

理想は信念である。國家が理想を確立して夫に向つて邁進する場合には、右顧左眄したり遲疑逡巡してはならない。處が多くは反對を恐れて妥協したり不徹底で濟ますのである。併しながら今日の如き時局に際しては信念的に突進することこそ最も肝要である。國家の大きなる理想の前に反對的行動をなす者は國を毒する國賊であるから斷乎として膺懲排撃しなければならぬ。正を正とし邪を邪とせぬ處に滿洲國の政治の不活潑性があるから此の點除括神を締めてかゝらねばならぬ。

滿洲國の不明朗性は責任に對する鈍感さからも來てゐる。政策上に於ける大きな失敗があつても其の責任者は罷くて轉任位で、ひどいのになると財務だと言つて海外旅行をさせる樣な馬鹿げた事が屢々行はれてゐる。これでは眞當に政務を處理しないのが當然である。賞罰を明瞭にして失敗した者には夫れ相當の罰を行ひ功績顯著の者には思ひ切つて拔擢がなされねばならぬ。信賞必罰は軍心把握の要諦であるが、此の原則は一般政治にも充分適用されるものと考へねばならぬ。此處にも絶對に妥協の惡癖を潜ませてはならないのである。

政治は理想の實現である以上反對理想に對しては果敢なる闘爭計算が行はれねばならないのは當然である。滿洲國は國防國家體制强化の必要から、日本から大陸の技術を輸入した。之が爲に滿洲國の理想の何たるかも辨へず他民族の風俗習慣も敎へられずに、唯、技術のみに物を言はせて渡滿した連中が物凄く多い。之等に對しては充分指導の手を伸ばすと共に、思想的に矯正し得ない者は滿洲國外に追放すべきである。彼等が他民族に與へる惡影響は言語に絶するものがあり、延いては滿洲國の精神建設の妨害者であるからである。

滿洲國は王道主義とか民族協和とか言ふ平和的な言葉に依つて其の理想が表現されてゐた爲闘爭と言ふことは、滿洲國とは縁遠いものとして避けられた傾向があつたが、夫れは大變な錯誤である。反對理想に對しては徹底的な闘爭に依てのみ我が理想が達成されるのである。國内には日本人に限らず他民族にも思想的異分子は相當多い。之等には徹底的なる闘爭が直ちに開始されねばならない、これが新長官に希望する第三である。

以上要するに新長官に望む處のものは、過去八年間の滿洲國の物質建設の上に理想性を確立して國民の向ふべき目標を明示し、全國民を驅つて勇躍理想實現に參加せしむる精神建設の斷行である。

演劇についての講習會を！

新協劇團の滿洲公演に先立つて、千田是也、久板榮二郎兩氏らにより各地で演劇についての講演會を開くといふ計畫があるさうである。まことに結構なことだと思ふ。それは一般人に對して新劇について良き啓蒙を與へる機會たり得るであらう。

しかし、實は今こゝで最も必要なのは演劇についての一層進んだ知識、技術的な指導をその方面に關心を持つてゐる人々に與へることであらう。それは、脚本の書き方といふやうなことについてもさうであり、演出のやり方といつた事についてもさうである。このためには一般公開の講演會などでは大した効果はあり得ないであらう。そこで思ふのは、この際さうした方面に關心を持つ人々を集めて講習會と言つたものを開くことが極めて有意義ではあるまいかといふことである。これをやれば更に關係機關などの協力、援助も得られることと思ふ。そしてそれが將來に持つ大きな効果は期待すべきものがあるであらう。こゝに提言する次第である。（大内隆雄）

作品と寫眞　三河三題（2）

加持正範

滿洲國に在住する白系露人の中でも、この三河地方に移住して來た者は王道樂土の恩澤に浴してゐる。勿論この地方の住民は農民で哈爾濱邊りの所謂文明生活を生活してゐる連中とは同日には語れないが、それにしても、曾ての陸軍大佐が負擔番であつたりする現在に比べれば何と惠まれた現在ではないかと言ひたい。

終つたが、この寫眞に付ては別に六ケしい意味はない。この魔法使の樣なお婆さんの表情にたまらない面白味を見出した丈けである。このお婆さんの顔は一見恐いやうな神秘的な印象を與へるけれど、見れば見る程限りない慈愛を感ずる。つまりそれは、この三河の首邑ナラムトで唯一つの敎會の牧師さんの内助の人だからであらう。

北滿旅記　駐在所の一夜（下）

岡藤四郎

五常から出て來た鮮系、滿系のお客が約十五六人のつてゐるし我々日系は五人だけお互に疑ひぶかい眼でギョロギョロ見合つてゐるのみである。

この邊に開拓民の部落はないかねエ、と尋ねてみたが、それはこゝから三、四里も向ふの山の附近であることが判つた。併し少し行くと珠河寄りの所に村があるから、そこに傳令を出してみるとの事で若い開拓團員が走り出した。その後について四、五名の滿人も走り出した。

二十分もした頃であつた。若者は歸つて來て、駐在所のある村があるから、そこに落付くことにした方がいゝとの事であつた。で、トラックをそこまで押して行くことにして、全員力を協せてかけ聲も物凄しくゴトンゴトンと押し初めた。

夜の十一時半、やつとその部落の前に着いた。

自警團員の二人が、ぬき身の拳銃を持つて我々の前に來た。不安ながら、ホッと安心したものゝ、何んだか氣味惡く、その邊に匪賊がウロウロしてゐる樣な氣分にかりたてせる。

その時一人の滿系の警官が服裝をなほしなほしかけつけて來、我々の一行を見て、いとも丁寧に、いんぎんに、そして禮儀正しく話しかけてくれた。

彼は、珠河縣警察駐在所勤務の張警長といふ警長であつた。

彼の話を聞いて我々はこの樣な小さな部落にまで縣政が如何に行きとゞいてゐるかに全く驚いたのであつた。

規律正しい張警長の態度に感心してゐると、部落民は一同を丁寧に收容してくれ、溫い食ひ物まで揃へてくれた。

「今夜はこの駐在所でお泊り下さい、明日は早く馬車を用意します。又この邊の治安は心配するほどでもありません。我々は充分自信がありますから、ユックリお休みなさい」といふ彼の顔つきや態度に、スッカリ安心したのであつた。

我々は彼以上に色々の情報を知つてゐる。彼はただ命ぜられた通りの職務に服してゐるのであつて、如何なる情報も、如何なる困難も、かん然と身を以つて村の人々に示してゐる、この警察官の態度には、全く涙が出るほどであつた。

一時頃になつてそつと起きて見た。彼はまだ起きてゐるらしく、隣の室でゴソゴソ話聲が聞こえて來た。

ウトウトしたと思つたら、もう夜が明け初めた。四時半にはもう我々もじつとしてをるわけにはゆかぬ。飛び起きるといふよりも、やつと助かつたといふ氣持ちであつた。

張警長がほがらかに笑ひつつ「もう起きられたのですか早いですねエ」といつてくれた。

そして彼は、洗顔の準備から食事のことまで一切を人々と共にしてくれた。

そして彼は靜々しく我々の側に來て「實は昨夜は全く心配しました。匪賊の一團がこの山の向ふまで來てゐるらしいとのことで、非常に緊張してゐた時です。十一時もすぎた頃に、ドヤドヤと四五人の人が訪ねて來られ、その中に日系官吏が三人も居るとの事で、又トラックが路の眞中で電氣を點けて修繕してゐると言ふ事々、凡て條件が惡い上に、我々の部下も今が一番手薄の折りであつたので、全く、一時は閉口といふよりはびつくりした位でした。スパイの多い世の中ですから、油斷は出來ないのです」

彼はホッとした調子であつた。又我々も彼以上にホッとしたのであつた。

太陽が高々と昇り初めてゐる。トラックはまだまだ動かない。山形村の團員たる運轉手は、まだ一物も口にせず、もう修理にかゝつてゐる。

五時半、一同に別れて馬車にゆられ乍ら珠河に向つた。珠河に着いて後藤副縣長にこの話をしたら、張警長の時宜に適した行動をほめると共に滿洲國もこれまでによくなつたことを自慢した。そして珠河縣の縣政の充分すみずみまで行き屆いてゐることをよろこんでゐた。

まもなく後藤氏は張警長に賞勵の電報を打つたのだつた。（筆者は製粉聯合會事務官）

時事解説　滿洲國の資金抑制について

滿洲國では資金の壓縮調整といふ事が最近强行されるやうになつた。それは先づ事業會社、政府建設事業の資金計畫を削減するものであり、その結果歳出も減少されることとなる。

政府は百五社に上る特殊會社、準特殊會社に命じてその事業費及び經費全般に亘り强度の減額壓縮を加へた改訂資金計畫を提出させ經濟部當局にたいてその内容を檢討するとともに數次に亘り事業別に會社首腦部を招致して技術的折衝を遂げたのであつた。

これによつて當初の資金計畫二十六億四千萬圓は廿億圓に壓縮された。その内譯は物動及び政策資金の關係で資材獲得の不確實から要を繰延べ或ひは打切り又生産期待薄の不急不適と認めたものを取消し、その外事業資金及び經費を通じて單價の壓縮、支拂法の合理化人件費等經費の强度の節約を行ふものである。

この資金削減を行ふに至つた一つの理由は歐洲戰爭により建設資材の輸入が困難となり建設計畫に齟齬を來したことにある。建設が停滯すれば生産は更に引延ばされ撒布された資金の回收は阻まれインフレーションは昂進する。インフレーション抑制對策の要は緊急の問題となつてゐた。一方時局要請運動も行はれてゐるが現状に於てインフレを阻止するには資金撒布を抑制するのが最も効果ある方法であつたことも考へられねばならない（山口愼一）

文化

僕の朝食前（到着順）㈡

金子定一

五時―五時二十分起床。鳥の行水の樣に顏と口と手とを洗つて散歩。親友安藤中將、從兄弟太田故義中尉などと誘ひ合ふことが樂みの一つですが、近來は宿で朝風呂を中止して歸つて入浴といふわけでしたので少しく殘念。それから髭そり、身體を拭き、國祖家祖の神靈を拜し、勅論捧讀、經典類を續く定めなのですが、時々怠つては恥入つて困ります。（筆者は協和會首都本部副本部長、陸軍少將）

穴澤喜壯次

六時（五時半乃至六時）起床。第一、室の窓を全部開放次に洗面。第二、庭に出て院内限なく見廻り旁々散歩、この間約十分間、後ニュースを聽く。第三、事務所の窓全部開放。前日の帳簿、傳票類受信全部點檢、この時間一時間乃至一時間半。朝食八時、日曜は起床後散策に出づ。（新京特別市諮議）

直木倫太郎

眼覺むれば直に降りたつ庭もせをせましと言はな夏の住みよさ

○

車の音いまだひゞかぬ朝涼に庭生に佇てば思ひはろけし

○

すがし歌口誦みつゝ縫つべの木の芽の心の青きをば嗅ぐ

○

新しき光かゞよふ露踏みて晨の思索衰へずなほ

○

寢るによし覺むるによろし夏さりて我の頭の靈しきがよし

（筆者は參議府參議）

三浦義臣

私の朝の日課は前夜の就寢時間で多少變ります。早く床に就く時は起床洗面の後に神佛を拜むで弓を引きます。射場が宅に無いのでサンルーム兼用の發藥道場（と云つても疊四枚ぐらゐ）で十射か十五射ぐらゐ。すると眠つて居る神經と筋肉が活を入れられてシャンとなる。それから新聞に眼を通して食事をとります。若し就寢が晩く、從つて起床がおくれると、弓は差引きを撤回してすまします。此の日課は大抵一年中同樣で「此の頃」に限つては居りません。（筆者は滿洲弓道協會副會長）

石の山也

「評判がよくない」と思悩するものは、實は、そのよくない評判を製造する人だ。

×

全部を知るものは敢て語らない。たゞ若干を知るもののみ全部を語る。

×

總ての滿足は滿足の出來ざるところに得らる。山中に在りて一本よりなき煙草を吸ふときの愉快はそれ。

童謡　親豚子豚

いちたに・きよあき

土塀のくづれた
小さな穴から
黒い豚が
チョリとくぐつた
オヤ　又　一匹
アラ　又　一匹

何だ、何だ、何だ
俺も行く俺も
ぞろぞろつづいて
子豚が出ていく
チョコチョコ　ウキウキ
チョコチョコ　ウキウキ

あとから親豚
大きなからだで
出るに出られず
これこれどこ行く
ヨチヨチ　ウキウキ
ヨチヨチ　ウキウキ

世紀の英雄（122）

番伸二　高田よしを畫

淺草風俗（一）

オーケストラボックス通しる暗い階段で岩田はしみじみと己の身の哀れさを感じた。いくら爭議屋れといふ名がその頭にかむせられてゐるとはいへ、それ程の屈辱に甘んじなければ、その日のパンにこと缺くのであらうかと。

やがて夜が來る――。レビュー小屋オペラ座の前は割引を待つ客が、切符賣場の前から館の正面を巻いて横手の非常口の方迄延びてゐる。

八時十分前。後十分で公園の各館は一齊に半額になる。學生、職人、白銅を耳に挾んでプログラムを眺めてゐる小僧――それ等がどの館の前にも蟻の行列のやうにびつしりと並んでゐる。六區では一番賑やかな時だし、又館では一番忙がしい時である。そこを

「おう、退いた退いた」

河田組の印半纏に、タオルを頭に卷きせつたばきの男がいづれも柄の惡い風采の男を五人程隨へて、興行の行列を切つて前にはいつて行く。小屋にはつきものゝうるさ方だ。

「たのむよ」

テケツ、モギリの女給に睨みをくれて、印半纏の男が、連れて來た五人の男を二階に送る。

「御二階、御客樣、五人さんよ」

と、二階の案内掛りに聲はかけたが、女給の秀子はにこりともしない。だいたいからうした連中が跋扈してゐるのが腹立たしかつたし、又それにぢりぢりしてゐる女給仲間と事務所の態度が情けなかつた。

「ひー坊、馬鹿にでかい聲で五人さんと怒鳴るぢやねえか年頃にしては色氣がなさすぎるぜ」

「濟みません。地聲ですから……。何でもいゝからピキ前に飾りドヤドヤ入れないでよ。近頃取締りでうるさいのだから」

「何だつて、支配人が俺達に木戸をつけとでも言ふのか」

「さうは言はないけど默な顔はするわよ」

「なら支配人に言つてきな。公園で河田組の者に木戸をつけるならつけてみろつて」

秀子はそのまゝ默つてしまつた。印半纏の男は僅んだ視線を送り乍ら依然としてモギリにへばりついてゐる。

割引の鈴が一齊に鳴つた。客がどつと入口に流れて來る。

「一寸、いつちゃん、邪魔だから退いてよ」

と、平氣で秀子はさう言つて、彼が何か言はうと振り向く時には、客の切符をちぎり乍ら、

「入らつしやい。御案内」

「入らつしやい。右が御同伴席ですから」

と、脇眼もふらず仕事をしてゐる。

與太者など一切眼中にないと、言つた態度である。

既に何かのんだ蛇の腹のやうにふくらんでゐる館の中にどつ、と三四日の客を次々と詰めるので、入口の扉もしまらず、その扉から、ちらちらと唄ひ手の顔や、踊り子の顔が外にみえるのである。そしてそれ等に一層刺戟されて一分でも餘計に見やうとする客が下駄をがたがたいはせて中へ走りこむのだ。

「よう、兄弟」

「おう、吉井の兄貴か。いゝ氣嫌だなあ」

「そんなに赤いか？時に丁度いゝところで會つたよ。一寸話があつてね、行かうと思つてゐた所さ」

「話？何かうめえ話かい」

二階への階段を二三段踏みかけてゐた男は吉井の言葉に又降りて來た。

「パイ一やり乍らする所だが手前受持の時間が後三十分程で來るんで外へも出られないから二階の賣店ででもしようか」

「うかゞひやせう」

賣店の小母さんは、二人の姿を見ると「いらつしやい」と言つたきりぺつに注文をききにも來ない。何をたべられても、飲まれても、一切又借りられるのだと思ふと注文をきゝに來る氣になれぬのだらう。

家庭

おむすび三種

お子様大喜び　食慾不振の夏に經濟で然も美味しく

食慾のなくなる夏期の食事には例へば子供さんの喜ぶおむすびなどは如何でせう、そこで榮養價万點で經濟的なおにぎり數種の作り方を御紹介いたしませう

▼……カレーむすび「材料」玉葱、ハム、パセリ、カレー粉、いため油、鹽胡椒先づ玉葱、ハムをみじん切りにし最初に玉葱をラード又は米の油でいため、カレー粉をうすく色のつく程度に入れ、ハムを入れて味をみてみじん切りにしてさらしたパセリを加へて少し冷めてからむすびます

▼……そぼろむすび「材料」鹽鮭と紫蘇の實鹽鮭を燒いて身をばらばらにほぐしてすり鉢ですり、味の素を少量入れ、御飯、そぼろ、紫蘇の實を一緒に混ぜ合せてむすびます、燻製の鮭をほぐして用ひますと一層美味しいむすびが出來ます

▼……時雨むすび「材料」肉、魚等の時雨煮と燒海苔時雨煮を芯にして御飯をむすび、燒海苔で包みます

以上のおむすびには味噌汁、香の物、胡瓜、トマト等の生野菜をつけ合せにします

またおむすびは胡麻鹽、梅干入りなど二三種とり合せますと榮養上大變よいのです

ビールの冷し方

冷藏庫も井戸もなければビールを冷したいと思ふときは壜を水でぬらした布巾に包んで風通しのよいところへ置いておけば布巾の水が蒸發するときに壜の熱をとりますから、唯水の中に入れておくよりはずつと冷くなります

美人は夜作られる　睡眠を充分　戰時向き新美容法

電髮やマニキュアをはじめ、一切の眼を引く外的な美容はこの際非難の的となつてゐますが、しかし女性が美しくなることを誰が拒むでせう、戰時下の美容は外部からでなく、宜しく内部からすべきだと思ひます、内部からの美容法といふのは……第一に身體を過勞させぬことです、肉體がひどく疲れ、心に憂悶がある人をどうして美しいとみることが出來ませう、身體を過勞させぬためには充分の睡眠をとることです、よく眠れた朝の晴々した氣持、艶やかな皮膚の色……美人は夜作られるといつてもよいでせう、次に適當な運動を行ふことです、快い睡眠をとるためには適當な運動が必要ですが、運動をして汗をかくことは皮膚の動きをよくし、これを美しくさせる何よりの秘訣です、食物は含水炭素の過食を戒めるのが何よりです、過食の結果ニキビなどが出來易くなりますだからニキビが出來、肌の荒れ易い人は、甘い食物などは極度に制限する必要があります、更に皮膚を積極的に美しくするにはビタミンCを補ふのが大切です、つまり「菓子よりは果物を」といふことになります

素人ロサンゼルス　赤い爪反對！

▼…爪を眞赤に染めるのは、わたし大嫌ひなのですが、他に何かきのきいたマニキュア法はないものでせうか、爪のお化粧もわたしは大切だと思ひます

▼…もつともです、近ごろは素足にサンダル、足や手の爪は眞赤、おまけりに眼には意味なく色眼鏡、などと云ふお嬢さん方が吉野町あたりをうろついてゐます、わたしもあれには大の不賛成、お顔よりも爪よりも眞先に心のお化粧が大切だとわたしは思ひます、尤も之では答へになりませんそこで最良の方法、を一つ丁寧にまづ爪をきつて鑢みがき粉を（驚いてはいけません）木綿か金布につけて爪を磨きます、これで大丈夫、變なマニキュアよりずつと自然な美しさです、

オール女性の方々へ、どんな御質問でもお答へします、美容、身上相談、それからあなたの御意見でもなんでも結構です

街に女性の聲を聞く！…（二）…ダンサーの巻

羽鳥春子

石を持て追はるゝ如くね…フッフッフ〃と彼女は笑つたがその笑ひにいさゝかも不健康な響がない。

踊りばを二間ほど右に折れたこのホールへは、女のわたし、一寸氣がひけたのだがやつとこさの思ひで一見十八九の彼女と、今滿傢の照明のなかに向き合つてゐる

タンゴ・パニーセレネードが流れてゐて眞白いドレスを床までひきづつたダンサー達は滑る樣に滑つてゐる

石を持て追はるゝ如く……故郷を出たのだと彼女は言ふのだ

〃そりやわたしたちこんな仕事をしてゐるものは過去に色んな失敗を持つてゐるわ、だけど、このホールのひとたちがどんなに正しい生活を打ちたて樣と努力してゐるか、一寸他のひと達には判つて貰へないんぢやないかしら？〃

〃しかし……〃とわたしは首をふつて

〃わたしには判る……〃とうなづいて見せると

〃あらオセヂ？〃と彼女は輕く笑つてのけた

〃判んないのも無理はないのよ、ほんとうに、石を持て追はるゝ如くわたし達は大陸へやつて來たんだ、だけどこちらで新しい生活の設計ね、どんなに眞劍かどんなに眞面目か判つて貰ひたいわ…〃フンフンとわたしはうなづいて！

〃判つた、ほんたうよ、だけどこちらに來てゐる女のひとつてみんな眞劍なんぢやないかしら？〃

〃いゝえ！〃

言下に彼女は頭をふるのだ

〃ひとの事は言へない、わたしたちの中にだつてさう…だけど、こちらの女のひてのは、全部が全部つてたい程上ッ調子、けいはくお喋り、なつてない！〃

〃そんな……〃口をはさむと、なにを！と言つた顔で

〃眞劍な生活！〃いい言葉ではないか【寫眞は語る高峰吐美子さんと踊る彼女】

わたしは青後の椅子にひつこんで背の小さな彼女がトンボ頭の男と朗かに踊つて行くのを眺め乍ら、彼女等の、その言ふ眞劍な生活を考へてみたものだ

〃いゝえ、さう、働いてる女だつてお金はたんと入る、いい氣なもんでジャンジャン使ふ、キレイな着物を拵へる、そんな事で一日一日が潰れてゆくの……まあ、いゝのよ、彼女等は、だけどねえ一立派な會社のとちらへ轉勤になつた御主人に隨いて來たつて若奥樣連中、これひがみぢやないいけないと本當に思ふわ、内地へいつて御覧なさい、何處に今どき、流行遅れみたいなあんな氣持の女のひとがゐるかしら…〃

〃流行おくれつて……〃

〃いゝえね、唯もうしつかりした底がないのよ、底つて言つて判るかしら……偉さうな事は喋るのよ、東亞協同體だの興亞だの、肇國理念だの…そんな事喋つてるだけ、それに流行の話、映畫の話ね…わたしの言ひたいことは、奥さま、おうちに引つこみなさいってこと、お家でお料理とお裁縫をぢつくりやつた方が、そして立派なおうちを作ると考へる方が、どんなにいゝか、ヒトラーの眞似おやないんだけど…〃

〃判つた判つた、わたしもおうちに引つ込みます〃

〃あら、かんにん、あなたは別よ〃

〃別で結構、あいにく御主人がなかつた…〃

とたんにホールの照明は紅に變り、バンドはルンバタンバの喧騷なマラカスの音を響かせる

〃商賣、商賣、フッフッフ〃と彼女は立ち上り

〃失禮しました〃と丁寧に頭を下げた

ラヂオ

あさ

六、〇〇（新京）建國體操　六、一八（大連）入浴勧のお知らせ　六、二〇（東京）ニュース　六、三〇（大連）初等滿洲語講座・幸地　六、五九（東京）時報（新京）天氣豫報　七、〇一（東京）物語文現近代史「政治外の交渉」（二）出石誠彦　七、二〇（新京）朝の音樂（レコード）交響管絃樂、組曲「金鶏」（リムスキーコルサコフ作曲）一、序曲と序詞（眠の獨由と金鶏の警告）二、第二幕前奏曲（山腹の獨由）三、ドドン王とシエマカの女王の踊り、四、第四幕前奏曲（行列の音樂とドードン王の死）ロンドン交響管絃樂團（指揮）グーセンス　八、〇〇（新京）建國體操

八、二〇（新京）氣象通報　九、〇五（東京）經濟市況　九、三〇（東、奉）經濟市況　九、五〇（新京）幼兒の時間一、童木のさんぱつ　二、まちぼうけ　三、渡邊（滿洲唱歌より）四、まゝごと濱田廣介（作詞）草川信（作曲）五、七つ星　室崎琴月（作詞・作曲）六、目高、林柳波（作詩）草川信（作曲）七、蛍の學校　野口雨情（作詩）室崎琴月（作曲）八、夕燒　藤原しげる（作詞）室崎琴月（作曲）岩田梨子（伴奏）銀の鈴オーケストラ

一〇、〇五（大連）家庭メモ　一〇、一〇（大連）料理獻立　一〇、二〇（新京）家庭の時間　家庭における新工夫　工學博士　關口八重吉　一〇、四〇（新京）食料品價段　一一、三五（奉天）經濟市況　一一、四〇（東京）經濟市況

ひる

一一、五九（東京）時報　〇、〇一（奉天）經濟市況　〇、〇五（東京）俚謠と尺八一、俚謠（イ）青梅日ひき唄　東京府西多摩郡梅村子今井連中（ロ）機屋騒子唄栃木縣藤原町有志（ハ）府中祝ひ唄　東京府北多摩郡府中町連中　二、尺八　〇、三〇（東、新）ニュース　一、〇五（東京）經濟市況　一、五〇（奉天）經濟市況　一、五五（新京）氣象通報　二、〇〇（大阪）婦人の時間　朗讀「無言庵雜記より」有馬賴寧作　朗讀石井アナウンサー　三、二〇（東京）經濟市況　四、〇〇（東、新）ニュース引續き（新京）野球試合實況＝新京兒玉公園野球場より中繼＝職業野球滿州リーグ戰　四、三〇（奉天）經濟市況（野球實況中斷）

よる

六、〇〇（仙臺）子供の時間　お話「戰爭で生れる新兵器」理學博士三枝彦雄　六、二〇（東京）コドモの新聞　六、二五（新京）講演「第三回國展の感想」青山義雄、寒本一洋　七、〇〇（東、新）ニュース（新京）告知事項、今晩の番組　七、三〇（東京）國民歌謠、一、海の歌西條八十（作詞）佐藤長助（作曲）二、戰前捕鯨者の歌佐藤惣夫（作詞）片山顯太郎（作曲）永田絃次郎（伴奏）東京放送管絃樂團　七、四〇（新京）講演「建國神廟創建祭の御儀に就いて」祭祀府祭務處長　八束清貫　八、〇〇（東京）講談「無影の出世」寶井馬琴　八、二五（東京）義太夫「時の話題」　八、三五（東京）長唄「四季の山姥」（唄）富士田新藏　他（三味線）杵屋和吉他囃子連中　九、〇〇（東京）時事解説　九、三〇（東京）涼味放送一　九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解説（新京）ニュース、氣象通報、告知事項、明日番組　一〇、三〇（新京）今日のニュース　一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

列車時刻

【發】▼奉天方面行▲　大連行 急、奉天行、山行（ひかり）、天行、大連行（はと）、口行、四平街行、奉天行（あじあ）、大連行、大連行、四平街行、釜山行（のぞみ）、四平街行、大連行 急、大連行、奉天行
▼哈爾濱方面行▲　哈爾濱行、德惠行、哈爾濱行、哈爾濱行 急、哈爾濱行、哈爾濱行、哈爾濱行（あじあ）、德惠行、牡丹江行
▼圖們方面行▲　吉林行、羅津行 急、圖們行、吉林行、牡丹江行、吉林行、清津行
▼白城子方面行▲　白城子行、白城子行、前郭旗行

【着】▼大連方面より▲　大連發 急、大連發、奉天發、大連發、四平街發、四平街發、山發、奉天發（のぞみ）、大連發、大連發（あじあ）、口發、大連發（はと）、天發、山發（ひかり）、大連發 急、奉天發
▼哈爾濱方面より▲　德惠發、哈爾濱發、牡丹江發、哈爾濱發 急、德惠發、哈爾濱發（あじあ）、哈爾濱發、哈爾濱發、哈爾濱發
▼圖們方面より▲　清津發、吉林發、牡丹江發、吉林發、圖們發、羅津發 急、吉林發
▼白城子方面より▲　白城子發、前郭旗發、白城子發

出船入船　大阪商船出帆

扶桑丸　八月一日、らぷらた丸　八月三日、うすりい丸　八月四日、熱河丸　八月五日、さんとす丸　八月六日、鴨緑丸　八月七日
門司、神戸行（午前十一時大連出帆）三角、鹿兒島那覇行　午後三時大連發
事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビューロー連絡切符發賣